

出雲本宮焼 高橋幸治窯 高橋幸治 *Koji Takahashi*



島根県松江市出身。

益子焼河原健雄氏、壺屋焼島袋常秀氏に師事したのち松江市で開窯する。

出雲地方の風土が作り出すような作品づくりが特徴。

宍道湖の夕景をテーマにした作品や、

不昧公200年祭に発表されたラテ茶碗など

日常の器を中心に作陶されている。

2012年には「MATSUE 流の会」会長に就任し、

作り手のネットワーク作りにも精力的に取り組まれている。



漆工芸絵師 武田 純 号 大燈 *Jun Takeda*



島根県松江市在住

山陰は島根に古く伝わる八雲塗りの技法を用いて、
様々な漆工芸品の制作に挑戦しています。

今作品はガラスを素地とした
漆塗りの器（ガラス漆器）で
「八雲びいどろ」と呼びます。

江戸後期から伝わるガラス漆器の技法を用い、
更に八雲塗りの加飾を施した古くて新しい
「八雲びいどろ」を是非手に取ってご覧ください。



田中文哉 *Fumiya Tanaka*



松江市東出雲町出身。

平成 25 年、雲南市の窯元にて陶芸を始める。

平成 27 年、自宅にて築窯。

洗練された器のフォルムと、
繊細な表情の釉薬が特徴の器を作陶されています。
地元島根をはじめ、全国各地のクラフトフェアや
百貨店等での出品などを中心に
活動されています。

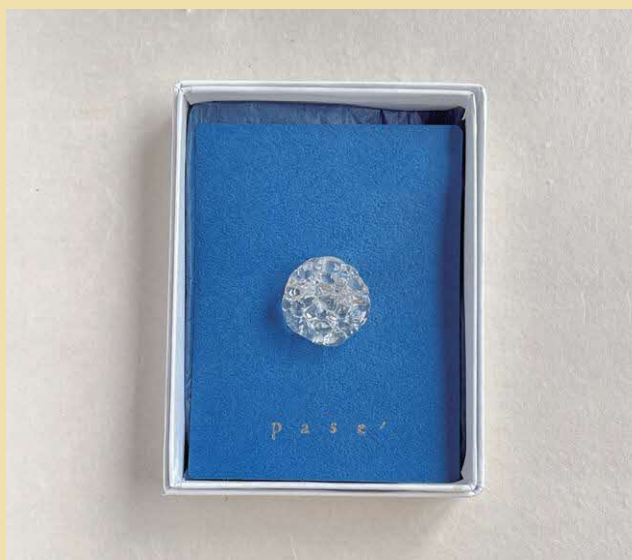
Instagram:fumiya_tanaka91



glass house pase' 長谷川 三芳 *Miho Hasegawa*



鳥取県米子市出身。
学生時代に観た「世界の現代ガラス展」に衝撃を受け、
ガラスの素材独特の美しさと技法の奥深さに魅了される。
女子美術短期大学、東京ガラス工芸研究所で学び、
ホットグラススタジオに勤めたのち帰省。
数年後、松江市にアトリエを設ける。
現在、百貨店やイベントに出展。
また子ども園の講師、ワークショップなどを通し
ガラスの美しさやものづくりの楽しさを
身近に感じていただけるよう制作活動中。



陶風舎 松本尚子 *Matsumoto Naoko*



1995年

市内窯元にて修業

2002年

独立開窯

2013年

島根県優秀技能者認定

各地 クラフト展・陶磁器フェスタ出展

2020年

テーブルウェアフェスティバル 東京ドーム出展



とうげい研究所 山本 将之 *Masayuki Yamamoto*



略歴

1985年 島根県生まれ

大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース卒業

同大学陶芸コース副手、

島根デザイン専門学校デザイン科講師を経て、

郷里で独立し作陶活動に入る。

2019年に松江市の出雲かんべの里

工芸館陶芸工房の運営、管理の委託を受け、

「とうげい研究所」を開設

